

男命の 玄界漁師 松下幹生

怒涛渦巻く 荒波割って
漁船(ふね)は上下に 乱れ舞う
波の飛沫(しぶき)と 雪礫(ゆきつぶて)
頬に喰らうも 沖睨み
男の漁場 突き進む
天晴(あっぱ)れ どっこい！
玄界灘を 意地と度胸で 乗り越える

可愛い女房と 子供の為に
今日も大漁 旗を上げ
港に帰る 夢を追い
獲物を求め 良場へと
漁師のカンで 仕掛け打つ
天晴れ どっこい！
玄界灘を 今日も1人で 乗り越える

アイツの危機と 知らせを聴いて
すぐに舳先を 向かわせる
仲間の命 守るため
一蓮托生 男意気
漁師の絆 大切に
天晴れ どっこい！
玄界灘を 幸せ求め 乗り越える